

## 令和元年度 第1回高岡市総合教育会議 会議録

I 日時 令和元年8月21日(水)午後1時30分～午後3時30分

II 場所 高岡市役所3階 庁議室

III 出席者 高岡市長 高橋 正樹  
高岡市教育委員会  
教育長 米谷 和也  
教育委員 長尾 順子  
教育委員 長谷田 祐一  
教育委員 森 美和  
教育委員 土田 一清

事務局関係

総務部

総務課長 上森 智美

総務課副課長 木村 文徳

教育委員会事務局

教育次長 杉森 芳昭

教育次長・学校教育課長 高松 毅

参与 川辺 勝治

教育総務課長 中保 哲憲

生涯学習・文化財課長 大野 洋靖

教育総務課副課長 島田 輝

教育総務課係長 水上 暁

生涯学習・文化財課係長 野口 広大

IV 傍聴者 1名

V 協議の概要

1 開会

・市長あいさつ

【市長】

少子高齢化といわれ久しいが、今後10年を見通した教育の在り方について検討を続けてきた。本日の議題でもあるが、長らく取り組んできた学校再編については、いよいよ来年度には形として見えることになる。また、その中で、子ども達が義務教育の9年間の中で、求められる知識や生活能力などを、しっかりと身に付けることができるようにということで、義務教育学校についても検討を進めてきているところである。新学習

指導要領が実施されることも踏まえた体制づくりをしっかりと進めていく必要があり、節目の時期であると考えている。

## 2 協議事項

### (1) 学校の再編統合について（教育総務課説明）

#### ① 学校の再編統合の進捗状況について

#### ② 五位中学校区統合小学校及び国吉中学校区義務教育学校の校名について

#### 【市長】

五位中学校区の統合小学校及び国吉中学校区の義務教育学校の校名については、地元の意見集約が図られたとのことだが、今年の9月の議会に提案するのか。

#### 【教育長】

この会議で承認いただければ、9月議会で条例改正議案を提出したいと考えている。

#### 【市長】

校名については、教育委員の皆様も了承ということでよいか。

#### 【各委員】

（異議なし）

#### 【市長】

五位中学校区の統合小学校については、来年4月に先行実施する石堤小学校と東五位小学校の統合の際に、名称を五位小学校とする。また、国吉中学校区の義務教育学校については、9年制の義務教育学校とし、校名については、国吉義務教育学校とすることによいか。

#### 【各委員】

（異議なし）

#### 【市長】

では、9月議会での議案の提出を目指し準備を進めてもらいたい。また、学校の校章や制服等については、今後、地元等との協議があるかと思うが、集約された時点で、また報告いただけるのか。

#### 【教育長】

校章等に関しては、手順を踏んで進めさせていただき、改めてご報告させていただきたい。

**【市長】**

高陵中学校区ほか、各校区では色々と議論が進んでおり、再編統合に向けての動きが一步一步進んでいると受け止めているが、各校区には、それぞれ思いがあるように思う。それらも踏まえ、地元での更なる説明や理解に向けた取組みをお願いしたい。

統合により学校区が広がることにより、通学が課題となると思うが、地元にはどのような説明をしているのか。

**【教育長】**

学校までの距離が遠くなる子どもがいるが、例えば、石堤の場合は、加越能バスの路線バスを活用し、通学に配慮することで進めている。

今後、まちなかで学校再編を進めていく際には、保護者から通学区域について配慮して欲しいというご意見を伺っており、地元の方々との協議が必要である。今後、弾力化も含めた、より適切な方法を検討していくことが必要になると考えている。

地域の皆さんにとっては、長年親しんでこられた校区・校下であるため、慎重に検討を進めていきたい。

**【市長】**

コミュニティスクールと高岡型について何か具体的な考えはあるか。

**【教育長】**

コミュニティスクールについては、国が推奨している仕組みの1つであり、地域の皆さんのご意見を学校に反映していくというものである。本市の場合は、PTAの活動が非常に盛んであるということ、また、地域の皆さんが学校教育に熱心であることから、新たな制度を設けなくとも、これまで色々な形で支援が得られてきた。

高岡型については、国が提唱しているものを基本とし、本市の過去の資産を有効に活かしながら、より地域の皆さんに学校を支えていただく、また、地域の皆さんから定期的にご意見をいただき、それを学校運営に反映していくという仕組みを、本市により合ったものとしていきたい。まずは、国吉の義務教育学校で取り入れ、それを1つのモデルとして、各学校の実態に応じた形で普及していきたいと考えている。

**【市長】**

懇談会では、統合までのスケジュールについてのお尋ねが多かったように思うが、国吉と五位以外の学校のスケジュールについてはどうか。

**【教育長】**

早く時期を教えてほしいというご意見は、対象の全ての地域で頂いている。教育委員会としては、一定の方向性を総合教育会議で提案させていただき、決定していきたいと考えている。そのためにも、今年中には、スケジュールのただき台と今後の見通しの取り纏めをさせていただいた上で、再度、皆さんにご意見をいただき、年度末までには、総合教育会議を開催し市長にお示ししたい。

#### 【長尾委員】

地域懇談会は、前回に比べ保護者の参加が多く、学童保育など切実な課題の提示があった。若い保護者の方からは、一日も早く統合して欲しいとの声もあり、統合に対する期待が大きいと感じた。

#### 【森委員】

スケジュールが決まっていたほうが、参加する側も、真剣に向き合った意見交換ができると考える。五位中学校区と国吉中学校区における準備会の内容からも、地域や保護者の方の意見が良く反映されており、皆で学校をつくっていこうという雰囲気が見える。残り4地区についても、今年度中に見通しを示したほうが良いと思う。

#### 【土田委員】

各校区での意見を見ると、校区により随分違いがあると感じる。そういう意味では、各校区の良い特徴をしっかりと残した学校教育の場を設けていただきたい。

国吉校区の義務教育学校については、保護者、児童・生徒、自治会の方など、皆さんが賛同し、こういう学校にしたいという意思表示をしっかりといただいているので良い方向に進んでいくと考える。

#### 【長谷田委員】

再編廃合に関しては、どの校区の会議においても、道筋を早く示してほしいとの意見が出ている。その中で、小中一貫校と義務教育学校の違いをもう少しはっきり説明し、住民の方にご理解いただければと思う。また、どのような一貫校にしていくのかについても、ある程度、住民の方にお示ししていく必要があるのではないかとと思う。

また、義務教育学校の名称は、地元の方が決められたことなので、反対するものではないが、将来的に義務教育学校が増えてきた場合、どの学校にも「義務教育学校」という名称を付けていくのかということもあり、難しいところだと思う。

#### 【事務局】

国吉については、「義務教育学校」と「小中学校」という名称のどちらが良いかということで議論してきたところである。また、一部「学園」という意見もあったが、違和感があるというご意見もあった。「小中学校」という名称は、国吉小学校と国吉中学校が隣接しており、今までも「小中学校」という呼び方もあったということで、子ども達には新しい学校が出来たというイメージにならないという意見が多かった。新しい学校ができるという意味で、「義務教育学校」という名称を付けてもらいたいという意見が多く、この子ども達の意見を受け地域の皆さんもこれに賛同した経緯がある。

#### 【市長】

今後、さらに義務教育学校ができるということになれば、名称は学校毎に決めていくことになるのか、若しくは統一的な名称となるのか。

**【教育長】**

今までの小学校と中学校に加え、国の制度変更によって、新たに義務教育学校が位置付けられた。そのため、国の名称の基本から言えばこの3つのいずれかの名称が最後につくことになる。京都市では義務教育学校の名称を使用せず、〇〇小中学校という名称を使用しているなど、名称については各自治体の判断になると考えている。

例えば、富山県では、高校名に地域名をつけるという考え方であり、これもオーソドックスな名称かと思う。

**【市長】**

子ども達や地域の方々になじむような名称を付けていただければと思う。

**(2) 青年の家、二上まなび交流館における取り組み等について  
(生涯学習・文化財課説明)**

**【市長】**

青年の家の能舞台は、能以外の使い方はされているのか。

**【事務局】**

青年の家で年1回開催しているサークルの発表会で利用している。

**【市長】**

名称変更をして新しいスタートを切ろうとしているので、ソフトをしっかりと確立していただきたい。能楽の舞台ということをどのように標榜していくかが大事かと思う。

文化芸能館が利用者の利用を逆に制約することにならないよう、広く市民の方々に活用していただけるようなアピールの仕方を検討していただき、文化活動が充実するような工夫をお願いしたい。

**【市長】**

二上まなび交流館の閉鎖について、関係団体や利用者への対応については、どのように整理しているのか。

**【教育長】**

繁忙期は、従来通り運営させていただき、冬場の閑散期に向けて、次年度の閉鎖に向けた準備をさせていただき、周知をしてまいりたい。

現在、青少年育成の3団体にご利用いただいているが、この3団体に対しては説明をさせていただき、ご理解をいただいている。また、指定管理者の高岡市文化振興事業団については、これまでも情報交換や調整を行い、ご理解をいただいている状態である。

**【市長】**

宿泊等で利用していた学校・団体等には、混乱はないのか。今まで二上まなび交流館を利用していたのに、閉鎖によって、その活動が休止になると活動エネルギーが落ちてしまう。まなび交流館の代替施設があれば良いかと思うが。

**【長尾委員】**

本市にまなび交流館ができる以前は、能登や砺波の青少年の家を利用していた。まなび交流館以外にも県内に活動する場所が近くにあるので、学校側としては、あまり混乱はないものと思われる。

**【教育長】**

課題があるとすれば、二上山を活動フィールドとして体験等をする場合に、宿泊する場所が無くなることである。宿泊を伴う二上山のメニューとしては、少し後退してしまうことになるが、宿泊自体は、能登や呉羽、砺波にあるので、色々なところで体験はできる。

高岡市民にとって二上山は心のふるさとであり、子ども達には、小学校を卒業するまでに、一度は二上山に自分の足で登って、自分達が生まれ育ったまちを展望する経験をさせたい。登山口としての機能を残すことで、そうしたものを継承できるのではないかと考えている。

**【市長】**

来年の9月末をもって通常の日帰り・宿泊営業は終了ということだが、それから閉鎖までの半年間の予定は。

**【教育長】**

清算などの手続きを含め、次年度以降の閉鎖に向けての準備を行うことになる。

**【市長】**

今後も野外活動のフィールドや二上山の登山口として、効果的な活用を図るとあるが、具体的に何か打ち出せるものはあるのか。あるいは、来年度末までに検討するのか。

**【教育長】**

来年度に向け若干準備も必要になってくるため、次年度に向けた内部調整及び関係団体との調整を行っていきたい。

**【森委員】**

私が小学生の時は、1年生から6年生まで、各々スタートの位置を変えた二上山の遠足があった。このような体験は地元の子供達にさせてあげるべきと思っている。

また、学校の活動だけではなく、低学年から高学年までが一緒になって火をおこすなど、自然に親しむ体験は何かしらの形で残してあげたい。

**【市長】**

では、青年の家の名称については、高岡市文化芸能館とすること、また、二上まなび交流館については、来年度の9月末で宿泊及び日帰り利用を終了し、3月末に閉鎖することを確認したい。

**【各委員】**

(異議なし)

**(3) 高岡市教育大綱の改定について**

**・高岡市教育大綱の改定方針（教育総務課説明）**

**【長尾委員】**

外国人児童生徒や部活動、特別支援など学校は大変過酷な状況にあり、人材確保など課題解決に向けた方策があればと感じている。

**【土田委員】**

外国人児童生徒や特別支援の対応について、他県での成功事例はないのか。

**【米谷教育長】**

国では、夜間中学という仕組みを検討しているが、中学校ということになると、市町村で運営していくことが想定されるので、国が主体的に施策を示していただければと思う。

また、本市の場合、外国人の相談員を各学校に配置しているが、これは県費負担分と市費単独で負担しているものがある。市町村によっては各自治体の単独負担で配置していないところもある。そういう意味では、県内では本市は手厚くなっていると思う。

**【長谷田委員】**

教職員の不足については、人数が決められていて、どうにもならないのか。

**【教育長】**

国の定数法により児童生徒数や学級数に対し教職員の定数が定められている。それに対し、緊急的に配置が必要な場合は、加配ということで国の予算がつくが、現場の要望と実際の配置数には乖離があり、なかなか溝が埋まらない。その部分を本市の場合は、特別な支援を要する児童生徒のクラスへの配置や外国人相談員を増員するなどの工夫を市の単独負担で補っているところである。

**【長谷田委員】**

これは本市だけの課題ではないので、国としてもしっかりと取り組んでいただきたいと思う。

**【森委員】**

外国人児童生徒への対応や、発達障害が疑われる子どもが、昔に比べると多くなっているため、1校に対する教員数の適正化が必要であると思う。

**【長尾委員】**

大規模校の教員が多く、小規模校は少ない。楽しく自己肯定感の高まる学校を作っているかなければいけないのに、教員にはそのゆとりが全く、高い志はあっても体はボロボロという状態で過ごしているのが現状である。地域の方も含め、皆がパートナーとなって子ども達を育てていかないといけない時代になってきていると感じる。

**【市長】**

教育大綱にかかる具体的な議論はこれからか。

**【教育長】**

今後、総合教育会議で議論させていただき、年度末に向けて集約していきたい。

**【市長】**

本日提示された今日的な課題への対応について重点的に取り上げながら、改定に向けた検討を進めていただきたい。また、これまでの5年間の評価を行ったうえで、全体としての見直しをお願いしたい。

**(4) その他**

**・第1回公民館のあり方検討に関する報告**

**【市長】**

公民館のあり方について、いずれ総合教育会議の議題になるのか。

**【教育長】**

現在、検討の初期段階であり、今回は第1回目の状況を報告させていただいた。基本的な方向の取りまとめにあたっては、総合教育会議にお示しし、了解をいただいたうえで進めていく。

以 上